



弘陵造船航空会

弘陵造船航空会 会員の皆様

令和 2 年 4 月 23 日

会長 珠久 正憲

令和 2 年度総会・交流会の開催中止について

拝啓 平素は弘陵造船航空会の活動にご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて 中国の武漢発で世界に拡散した新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は、欧米を中心に爆発的な猛威を振るい、今後は中南米、アフリカなどへも感染拡大が懸念されております。我が国は客船ダイヤモンド・プリンセスの集団感染があったものの、欧米に比べて感染拡大のスピードが抑制されておりましたが、3月後半から勢いが増し、東京都は4月4日に三桁の感染者数を示すに至り、政府は4月7日に東京、神奈川をはじめとする7都府県を対象として緊急事態宣言につづき、4月16日に対象地域を日本全国に拡大して改めて発令致しました。ひとりひとりの意識改革と行動変革により、人と人との接触機会を大幅に下げ、感染者の増加をピークアウトさせ、医療崩壊を何とか食い止めることを目論んでいます。日本に先んじて、強制力を伴う外出禁止など事実上のロックダウンを導入するなどより厳しい緊急事態宣言を出した中国や欧米の事例を見てみますと、新規の感染者数や死者数の増加に歯止めがかかるまで数週間以上の時間を要し、また歯止めを実現しても感染終息まではとても見通し得ない実態にあることがわかります。新型コロナウイルスとの戦いは

かなり長期戦を覚悟する必要があります。

本年5月23日に開催を予定しておりました令和2年度総会は記念すべき第50回に当たり、上記状況の中何とか開催の道が無いか検討を進めて参りましたが、感染拡大の勢いは未だ衰えず、会員の安全を確保して総会を開催することは困難と判断するに至りました。

今般役員会の賛同も得ましたので中止といたします。

これに伴い、同窓会最高の決議機関である総会の性格に鑑み、監事監査を経た上で、後日、会則に定めた総会承認議案について役員会審議（書面審議を含む）を実施し、その結果を会のHPに掲示することで会員への報告とすることにいたします。

また、HPへの掲載については会員にメール等により周知することにいたします。メールにもURLを貼り付け、ここからもHPの閲覧可能とするよう配慮いたします。

この措置をもちまして、会の新年度活動をスタートさせますが、今年度発行予定の会報にて役員会で審議された議案の細部を会員各位に報告することにいたします。なお会員各位からのご質問、ご意見は弘陵造船航空会事務局で随時受付、必要に応じて回答申し上げます。

本年総会、交流会を担当する予定であったクラス幹事の皆様は、上記に伴い次年度に繰り越して担当頂くことといたします。

非常事態で十分な対応がなかなか困難ですが、事情ご賢察の上ご理解お願い申し上げます。

敬具